

File 351:Derwent WPI 1963-2003/UD,UM &UP=200380  
(c) 2003 Thomson Derwent

Set Items Description  
--- ----

?

Ref	Items	Index-term
E1	1	PN=JP 59032471
E2	1	PN=JP 59032475
E3	1	*PN=JP 59032492
E4	1	PN=JP 59032494
E5	1	PN=JP 59032495
E6	1	PN=JP 59032496
E7	1	PN=JP 59032497
E8	1	PN=JP 59032498
E9	1	PN=JP 59032499
E10	1	PN=JP 59032500
E11	1	PN=JP 59032501
E12	1	PN=JP 59032502

Enter P or PAGE for more

?

S E3

S1 1 PN='JP 59032492'

?

T S1/9/ALL

1/9/1

DIALOG(R)File 351:Derwent WPI  
(c) 2003 Thomson Derwent. All rts. reserv.

003934067

WPI Acc No: 1984-079611/198413

XRAM Acc No: C84-034214

XRPX Acc No: N84-059354

Appts. for removing wrinkles from vehicle sheet - has 3 chambers radially  
mounted on vertical shaft, each with suspending means and steam or hot  
air supply means

Patent Assignee: TOKYO SHEET KK (TOLS )

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 59032492	A	19840221	JP 82140195	A	19820812	198413 B

Priority Applications (No Type Date): JP 82140195 A 19820812

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 59032492	A		4		

Abstract (Basic): JP 59032492 A

The device has a case contg. a vertical shaft. Three chambers for  
accommodating wrinkled sheets are radially mounted on the vertical  
shaft. Each chamber has a means for hanging the wrinkled sheet and a

means alternately or simultaneously supplying steam or hot air to the sheet.

The wrinkled sheet is hung in the chamber exposed to the front. The chamber is then automatically rotated by 120 degrees. Desired steam or hot air is alternately or simultaneously applied to the sheet to remove wrinkles.

0/6

Title Terms: APPARATUS; REMOVE; WRINKLE; VEHICLE; SHEET; CHAMBER; RADIAL; MOUNT; VERTICAL; SHAFT; SUSPENSION; STEAM; HOT; AIR; SUPPLY

Derwent Class: F07; Q39

International Patent Class (Additional): B68G-015/00; D06F-073/00

File Segment: CPI; EngPI

Manual Codes (CPI/A-N): F03-J; F04-E03; F04-F03

?

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—32492

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 68 G 15/00  
// D 06 F 73/00

識別記号  
1 0 2

庁内整理番号  
6501—3B  
7614—4L

⑭ 公開 昭和59年(1984) 2月21日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑮ 車両用シートの蹴伸ばし装置

⑯ 特 願 昭57—140195

⑰ 出 願 昭57(1982) 8月12日

⑱ 発 明 者 納富浩  
川越市南田島1580—2

⑲ 発 明 者 別所康源

鴻巣市滝馬室986

⑳ 出 願 人 東京シート株式会社  
朝霞市栄町3丁目7番27号

㉑ 代 理 人 弁理士 新関宏太郎

明 細 書

1. 発明の名称

車両用シートの蹴伸ばし装置

2. 特許請求の範囲

縦軸の周りを放射方向に3等分して縦軸と共に回転する3室の収容室を設け、該収容室は正面を向いているときは外部に露出するが、モーターに通電して120度回転すると密閉された室になるようにし、該収容室には車両用シートを吊設する吊設部と、蒸気又は熱風を交互に或いは同時に供給する供給部とを設けた車両用シートの蹴伸ばし装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、車両用シートの蹴伸ばし装置に係るものである。

本発明は、クッション部材の表面に表皮部材を被せたとき、その表皮部材の蹴を伸ばす装置である。

本発明は、縦軸の周りを放射方向に3等分して縦軸と共に回転する3室の収容室を設け、該収容室は正面を向いているときは外部に露出するが、モーターに通電して120度回転すると密閉された室になるようにし、該収容室には車両用シートを吊設する吊設部と、蒸気又は熱風を交互に或いは同時に供給する供給部とを設けた車両用シートの蹴伸ばし装置を要旨とする。

図により説明すると、第1図は側面図、第2図は操作盤1の正面図を示し、2はスチームタイマー、3は熱風タイマー左、4は熱風タイマー右、5はカウンター、6はランプ、7は回転

体スタートボタン、8は始動ボタン、9は停止ボタン、10は蒸気熱風同時使用スイッチ、11はブレーキ開放スイッチ、12は行程予約スイッチである。スチームタイマー2は収容室13に蒸気を噴出する時間を設定する。熱風タイマー左3は設定時間だけ左側の収容室13に熱風を供給する。熱風タイマー右4は設定時間だけ右側の収容室13に熱風を供給する。回転体スタートボタン7はスタンバイOKランプが点灯しているとき、これを押すと回転体が回転する。始動ボタン8はこれを押すと、ファンモーターが回転する。停止ボタン9はこれを押すと、ファンモーターを停止させる。蒸気熱風同時使用スイッチ10は、これを上に倒すと、蒸気と熱風が収容室13内に同時に噴き出す。蒸気

3

車両用シートを吊設する吊設装置が設けられる。水平円盤17の中央には噴出筒21が上方を向いて形成される。3個の収容室13、13、13の後方は空室22であり、空室22内には送風機23が設けられ、送風機23の風路24は空室22と送風室18内を伸びて120度回転して横向の収容室13の噴出筒21の下側で開口する。25は蒸気噴出ノズルで、風路24内で開口する。26は切替弁で、これを切換ると反対側の収容室13に蒸気と熱風を送る。27は切替弁26を切替えるソレノイド、28は蒸気作成装置、29は切替通路、30は仕切壁である。

次に作用を述べる。

停止ボタン9を押して回転体を停止させ、正

5

熱風同時使用スイッチ10は、これを下に倒すと、標準使用により、蒸気が設定時間だけ噴出し、その後熱風が設定時間だけ噴出する。ブレーキ開放スイッチ11は、これを上側に倒すと、収容室13等の回転体がフリーとなり、収容室13は手で回わる。行程予約スイッチ12は、回転体の回転を予約する。

14は縦軸で、箱体15内に取付けられている。箱体15の正面側には窓16が設けられる。収容室13は窓16より露出する。縦軸14の下部には水平円盤17が取付けられ、水平円盤17の下側には送風室18が形成される。縦軸14には放射方向に伸びる3枚の仕切板19が取付けられて、水平円盤17の上部に3部屋の収容室13を形成する。収容室13内には、

4

面側の窓16に露出している収容室13の吊設装置20に車両シートを手で掛ける。つぎに回転体スタートボタン7を押すと、収容室13等の回転体は回りだし、収容室13は右回りして120度回転し、次の収容室13が代って正面側に露出する。そこで、スチームタイマー2により時間を設定しておき、蒸気熱風同時使用スイッチ10を下側に倒すと、設定時間だけ、蒸気が蒸気噴出ノズル25より噴出する。この蒸気は、噴出筒21を経て収容室13内に噴出し、収容室13内に吊設されているシートの表皮部材に掛かる。そして、蒸気の噴出が終ると、熱風が設定時間だけ供給され、このように、蒸気と熱風が交互に供給されてシートの表皮部材の皺は伸ばされるのである。

6

この場合、収容室13に対して蒸気のみを供給したり熱風のみを供給したりすることができるから、表皮部材の状態に応じた織のばしが行なえる。

本発明は、上述のごとくであるところ、特に縦軸14の周りを放射方向に3等分して縦軸14と共に回転する3室の収容室13を設け、該収容室13は正面を向いているときは外部に露出するが、モーターに通電して120度回転すると密閉された室になるようにし、該収容室13には車両用シートを吊設する吊設部20と、蒸気又は熱風を交互に或いは同時に供給する供給部とを設けた車両用シートの織伸ばし装置としたから、正面側に露出している収容室13にシートを掛ると、その後は自動的に収容室13

が120度ずつ回転し、希望の蒸気または熱風を交互または同時に掛けてシートの表皮部材の織を除去することができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は全体側面図、第2図は操作盤の正面図、第3図は全体正面図、第4図は全体平面図、第5図は全体横断平面図、第6図は全体横断側面図である。

13は収容室、14は縦軸、20は吊設部。

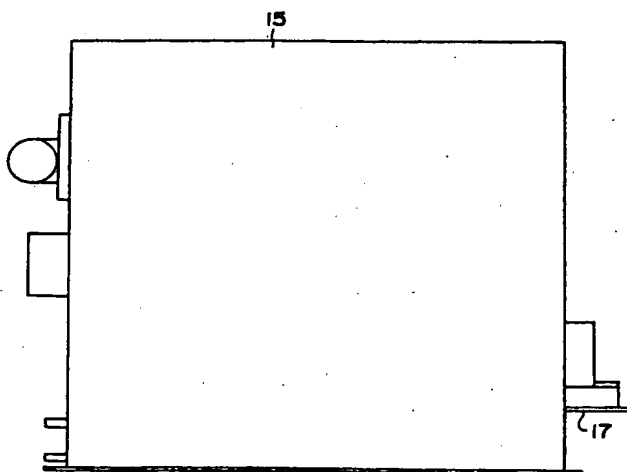
特許出願人 東京シート株式会社

代理人弁理士 新聞 安太



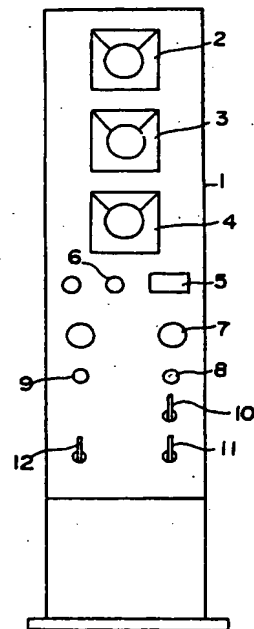
7

第1図

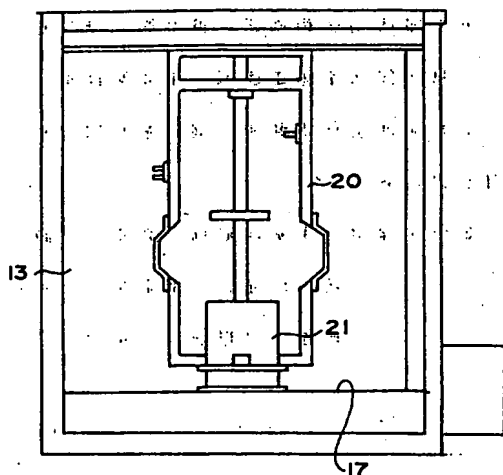


8

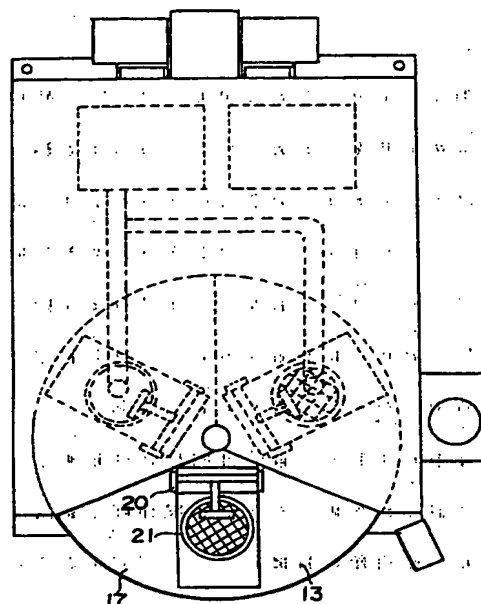
第2図



第 3 図



第 4 図



第 6 図

第 5 図

